

新緑の鵜の池湖畔を走り抜ける

▼第35回中国山地日野 鵜の池マラソン大会



勢いよく湖畔を駆け抜ける選手たち

淡い緑、深い緑の木々が、さわやかな風に吹かれ、気持ちの良い絶好のマラソン日和の6月3日、第35回鵜の池マラソン大会（同実行委員会主催）が開かれ、県内外から約300人の選手が参加しました。

選手たちは家族やほかの参加者の応援を受け、鵜の池湖畔を周回する2・3キ、4・6キ、6・9キの3コースを

年齢に分かれたクラスで走りました。

会場では恒例の地元野菜たつぷりのみそ汁サービス、手作り弁当などのバザーも設けられ、選手とふれあいました。

また、昨年引き続き、奥日野源流太鼓（日南町）の皆さんが勇壮な太鼓を披露。湖畔に響き渡りました。

今年は鵜の池周回コースが復活！

選手たちは湖畔の景色を楽しみながら駆け抜けました



それぞれのペースでマラソンに挑む



太鼓を打つ技に感動



バザーは家族客らでにぎわう



特産品の当たる抽選会は大にぎわい



親子そろって笑顔でゴール



町民ミュージカルをしっかりと宣伝

熱い応援に答えるよう選手は力走し、
ゴールでは「よく頑張った」と笑顔が迎える



楽しみながら鶴の池マラソンを満喫する



選手宣誓は、日野町交通安全母の会の皆さん